



図工室から VOL1

令和7年6月2日

馬橋小学校

馬橋小学校の図工科の教育にご理解ご協力いただき、ありがとうございます。
この「図工室から」で本校の図工の授業における子どもたちの取り組みや作品を紹介しています。

インターネットが生活の中に深く浸透し、情報にあふれた現代において、目や手先、体全体の五感を働かせて自分だけの価値を見つけることは以前より難しくなっているように思います。子どもたちも学校生活の中で、わからないこと、迷うことがあるとあまり自分で考えずにインターネット検索をする姿が見られますが、実体験を通して自分だけの答えを見つけていく力は生きていくうえでとても大切だと感じます。

図画工作は、色や形、素材を操作しながら、よさを見つけたり、発想を広げたりすることを楽しみ、感性を育む教科です。子どもたちが自分で試したことや思いついたことを大切にして、共感し、互いに励まし合う授業を目指します。家庭、地域の皆様にも、こちらに掲載する写真や文章を通して、子どもたちの生き生きと学んでいる様子が少しでもご覧いただければ幸いです。

図工専科 直本 鉄平



第1回の「図工室から」は、6年生の「私のなんだかいい感じ」を紹介します。

6年生の最初の題材では、段ボールを基底材に抽象画を描きました。

抽象画は一見何を描いたかわからず、見る人によって様々な見方感じ方ができる絵画です。

子どもたちは「無意識で形をつくった方がいいかな」など初めての抽象画制作に試行錯誤して向き合っていました。段ボールのパーツを組み合わせて形を作った後は自分の感覚に合う色を塗っていきます。

筆やローラー、スポンジ、歯ブラシなど様々な道具を使って、ぬり方も工夫して作品がより表情豊かになるようにしていました。

作品が仕上がってから最後に題名を考えましたが、色の組み合わせや形の特徴など造形的な要素から連想されるイメージを言葉にすることができました。



馬橋小学校 図工専科 直本 鉄平